

令和 7 年 6 月定例教育委員会会議録

1. 招集年月日
令和 7 年 6 月 2 5 日（水） 午前 1 1 時 3 0 分～
1. 招集場所
磐梯町立磐梯中学校
1. 出席委員
中川 綾教育長、玉水まどか職務代理者、宮森優治委員、南部あゆみ委員、鈴木修一委員
1. 欠席委員
なし
1. 説明のため出席した者
教育課長 大森義秀
1. 開会（午前 1 1 時 3 0 分）
中川教育長が開会を宣言した。
1. 会議録作成者の指名
教育課長を指名した。
1. 会議録署名人の指名
玉水職務代理者、宮森委員を指名した。
1. 前回会議録の承認
全員が承認した。
1. 教育長報告

教育長

それでは教育長報告に移ります。私から報告をさせていただきます。資料をご覧ください。行事等、以下のような形になっておりますが、情報共有も含めて行っていきたいと思います。行事については、ざっと見ていただいて、気になるところは後ほどお聞きいただきたいなと思っております。

教育委員会としては、学校見学相談会が行われました。0-15 基本構想関係のところ、6 月 2 0 日と 6 月 2 3 日のところですね。学校選択制、学校見学説明会で、第二小学校と第一小学校で行われました。参加組数が第一小学校が 4 組、第二小学校は 9 組という形になります。第二小学校は 10 組お申し込みがあったんですけども、1 組当日キャンセルということでした。保護者の方、単独でいらっしゃる方々もいらっしゃいましたし、お子様を連れていらしてくださった方もありました。いろいろな方とちょっとお話しすることもできまして、すごくいい時間になったかなと思っております。思っていたよりもやってよかったなというふうに思いまして、「人数少なかったから 1 0 月なくなることありますか」と聞かれましたが、それはなくなりませんということで、1 0 月にももう 1 回行いたいということは変わらずに思っております。前もお伝えし

ましたように、8月に第1回調査を行いまして、10月にもう1回見学を行って、11月に最終決定の調査を行うという形になっております。それは変わりません。

前回、鈴木委員よりいただいていた第二小学校の地域会費の徴収がなくなった点について、PTAの方々にお聞きしたのですが、大きく二つ理由があったと思っております。まずはお金を徴収しないで困らないのかという心配があったと思うんですけども、そこについては今むしろ、だいたひ貯まっているということなので、その心配はなさそうです。プラス、これはいいかどうかは別として、やっぱりお返しができないと、そういう気持ちになっていて、貯まっている上に、それに対していただいているものに対するお返しができないということについても、PTAの方でどうしたものかというところで、このような決断になったというお話がありました。今後一切ずっと徴収しないかどうかというのは、また別の話なのかなとは思いますが、PTAの方々がそういうふうに決めていかれたというのが現状のようです。

3番目になります。5月の後半ぐらいから町民体育館と町民運動場を予約がなければ使って良いよ、と小中学生に向けて案内をしたところ、放課後、意外と多くの小中学生が遊びに来てくれるようになりました。これも想定より結構来てくれるなという感じがしています。私はとても嬉しいというか、放課後公民館に子供の声が戻ってくるような日が続く感じがしています。ただ使い方に難ありみたいなどころがあるので、そこについては、こういう使い方してると使えなくなりますよ、という脅しの指導ではなく、壊してしまったりなんかしたら、隠れたり逃げたりせずに、ちゃんと大人に助けてと言ってほしいというアプローチの仕方です。声をかけさせていただいております。基本的に、同じような子たちが遊びに来てるのでありますが、今のところいい雰囲気かなというふうに思っております。

4番目、地域活性化企業人の活用でございます。土岐さんとは別にもう1人、同じような形で月1回、公認心理師さんをお願いしようと思っております。7月からの契約で考えております。0歳から5歳を主に見ていただいて、巡回相談的に月1回来ていただき、先生方の相談に乗ったり、子どもたちにこんなことができるのではないかとアドバイスをしていただくような形をお願いする予定です。今、保健センターと連携している岡本先生とも顔合わせができるように手配しておりますし、保健師さんたちとも連携していけるようにしていきたいと思っておりますので、ご安心ください。

5番目です。下校時の子どもたちのトラブルというのがありました。まあ何かしらありますよね、子供たちは。要は登下校の間に起きたことというのは、誰の責任になるんでしょうか、という保護者から学校に質問がありました。「学校がちゃんと見守りしてくれないのか」とか、「地域の人たちに見守り隊でやってもらえないのか」というような、意見もあったのですが法的見解としてはどうなのか、町の顧問弁護士さんに聞きに参ったところ、やはり学校から出たら学校の責任はなくなるということでした。磐梯町であれば、放課後児童クラブに行く子どもたちがいますが、着くまでは放課後児童クラブの責任ではありません。誰にあるかという、基本保護者に責任があります。線引きとしてはそういうものであるというのが法的見解です。ただ働いている保護者の方々がその時間だけ行くと行くとすることは難しいのが現実であって、そこに学校は関係ありませんよねという冷たい関係性ではなくて、線引きをきちんとするけれども、主体は保護者であるということを前提にどのようにしていけばいいかということ、例えば学校運営協議会だとかで話し

合い、地域全体で考えていくのがいいんじゃないでしょうかと弁護士さんからアドバイスをいただきました。そのことを学校の先生方に、校長会を通してお伝えさせていただいて、現実的に保護者ができるところとできないところがあると思うんですけれども、線引きをきちんとしていくっていうことは、大事なところだよねという話になっております。同時に、責任は学校にありませんからってということではなくて、学校の中で指導をきちんとしていたかどうかということが問われるということも言われているのと、線引きがなくなってしまうと、学校が本来、権力を振りかざすべきところではなく、家庭に本来はあるものを、学校が出張って行ってやってしまうみたいなこともなくなる、逆の発想なんですけど。線引きというのは本当に大事ですということを繰り返し言われましたので、そのあたりはやっぱり地域で見守っていくということも含めてですね、みんなで話し合っていけるといいですねということになっております。学校運営協議会でも話していけるといいかなというふうに思っています。

6 番目です。県知事が6月30日に来町するっていうお話を出したかもしれないんですけど、その時の資料を先に早めに提出するように言われまして、作成したものも一応添付いたしましたので、もしよろしければご覧ください。

7 番目です。「学校給食への有機農産物等使用促進による食の指導充実に関する調査研究委託事業」について、磐梯の給食を魅力化するにあたって、地場産の野菜を多く使っていくような仕組み作りを目指しましょうって話をしています。今も家久来先生がすごく力を入れてやってくださってはいるんですけれども、もっと仕組みを安定させるためにはどうしたらいいかと、NPO 法人の方々と連携をして、その仕組みを作っていこうと思っています。また文科省の方で、この研究委託事業っていうのがあったので、試しに出してみたところ採択されました。ですので町のお金ではなくて、文科省からお金をいただいてできるということになりましたという報告です。

資料の写真にはいろいろな行事が載っています。一小の田植えの様子とか、二小は自由進度学習が始まりましたので、見学会の時だけじゃなくて、何度か私も見学しに伺ったのですがいい雰囲気になってきてるなというところですよ。右下の写真は、初任者研修がありまして、初任者の方々は磐梯町出身ではないので、磐梯町の教育施設ってどこにあるのかわからない。じゃあ実際に見に行きましょうと歩いていきました。すごく暑い日だったんですけれども施設がありそうなところに歩き始めて、「ないよー」って思いながら、付き合っ一緒に歩きました。第一小の養護教諭の方と中学校の国語の先生なので、幼稚園はわからないっていうんですね。バイパスの交差点に町の地図がありますよね。観光地図みたいな。「あ！地図だ」って行ってみたんですけど、幼稚園が載っていないんですね。私もついて一緒に行ったんですけど、第一小と第二小と中学校はあるんですけど、幼稚園が載っていないくて、交流館に着いた時に、「わからない時はどうしますか」って話をしてみたら、「インターネットで調べる、人に聞く」ということで、交流館で聞いてみたら、「郵便局の隣です」って言われて。その前、郵便局の話題が出てたので、郵便局の場所はわかるんだよなって言ってたのに、それでも幼稚園わかんないんだと思いながら、ちょっとニヤニヤしながら一緒に歩き回ったということです。いろんなおしゃべりをしながらできたのはすごい良かったなと思っていて、その後、午後は慧日寺資料館で白岩館長に慧

	<p>日寺の歴史をお話いただく時間になりました。中学1年生は、シグマに見学に行きました。</p> <p>プールが始まりましたという写真があるんですけど、私はすごい好きで、幼稚園の子どもたちは水着に着替えてプールまで歩くんですけど、火曜日にグラウンドゴルフをやっている高齢の方々とあそこで交流が生まれるんですね。子どもたちの声が聞こえてきて、グラウンドゴルフをやめて手を振ってくれて、みたいなことが起きるのが火曜日の雰囲気ですごく好きなので、ちょっと撮らせてもらいました。</p> <p>学校運営協議会を今まで全部の学校園集まってやっていましたが、6月は各学校でやってみようということで、中学は中学だけ、小学校は小学校だけ、幼稚園は幼稚園だけでやりました。それはそれですごくよくて、今日中学校の校長先生にお話できたみたいに、その学校だけの課題や年齢にあった課題について、みんなで取り上げて話せたというのがすごく良かったのでまたそういう時間も欲しいという話になっております。</p> <p>私からの報告は以上になります。何かご質問等あればお願いします。</p>
南部委員	<p>はい。学校給食についてですけど、福岡の給食に関するニュースについて、多分バランスの問題ではあるし、磐梯町はそういうクレームとかはないですか。</p>
教育長	<p>前年度から700万円追加で魅力化ということで、今年度もそれを前提に700万円もプラスで払っているんですけど、今年度になって、そういう話は来なくなったかなと思ってます。ただ価格の高騰で700万円でも足りないかもみたいな話も出てはいます。ただ、幼稚園の子が外で遊ぶ活動が今年もすごく増えて、子どもたちが去年よりよく食べるようになったってということで、給食が空っぽになる率が高くなったので、この間の給食会議の中でもちょっと3食分ぐらいご飯を増やしてもらうみたいな対策を取ってもらいました。無償化をしてしまうと質が下がるっていうのは、今回のニュースの要点だったのかなと思うので無償化じゃなくて魅力化だと言っている町長は先見の明があるなと私は思うんですけど、今後国の動向がどうなっていくかで、磐梯町はどうしていくか検討していかなきゃいけないのかなと思います。</p> <p>今日の給食は中華丼だと私は調査済みになっています。私的には嬉しいなと思っておりますので、食べていただければと思います。</p>
玉水職務代理者	<p>給食のところですが、700万円追加で魅力化ってことでお伺いしてたんですけど、具体的には700万円追加して地元の野菜を使うようになったんですか。</p>
教育長	<p>地元野菜を使うのは前から努力はしていて、その率は今また上がってきているんですけど、今回の委託事業に関しては、さらに本当に安定的に地元産の食をいかに増やせるかっていうところです。700万円は物価高騰もかなりあるんですか。</p>
教育課長	<p>物価高騰分が300万円で、400万円が魅力化など工夫しましょうみたいなイメージです。教育長がおっしゃったとおり、物価高になってきておりますので、おそらく後半に更に手当してほしいというような要求が来るのかなと想定はしています。</p>

教育長	食材のいいものを、特色のあるものなるべく増やして、献立に入れてくださっているのは増えてきたと思います。子どもは「唐揚げがいい」という一方で野菜はあんまり食べてもらえないみたいなことをやっぱり栄養教諭が嘆いていました。他にございますか。
鈴木委員	はい。二小の PTA 会費と直接は関係ないんでしょうけども、さっき校長先生からバレー部が 2 位だったという話がありました。よく高校で、大会があつて、学校の前に垂れ幕を出すのありますよね。あれは小学校、中学校はダメなんですか。
教育長	ダメってことはないと思います。
鈴木委員	二小の PTA でも今までは「せせらぎ」っていう広報が月に 1 回か 2 回、全戸に配ってたんですね。そういうのがなくなるのかもしれませんが、大縄跳びで記録を作りましたが、そういったものが非常に名誉なことであつて、学校だけでしまってくるのはもったいないと思うんですよね。あそこちょっと通り道なんで垂れ幕みたいな看板をドーンと掲げてこういう成果がありましたとかね。大会で何位になりましたとかそういうものに PR 費や広告費を使えないのかなと思ったんですけどね。そういうのダメなんですか、小中学校は。
玉水職務代理者	いいような気がしますよね、なんかもう。子どもが学校行っていないと、学校のことって全然わかんなかったりするけど、中学生頑張ってるなどとか。
教育長	そういうことの地域の方々のご意見を学校がどう吸い上げることができかねるかってことは多分、課題ですね。
鈴木委員	手段としてはね、いろんな方法があると思うんですよね。全戸配って、本当にみんな読んでるかどうかわかんないしね。回覧板でも来るんですよ。回覧板ってパッと見た瞬間、文字が多いとすぐ回したりしますよね。だからそういう意味では、垂れ幕はドーンとビジュアル的にはいいのかなと思うんですけどね。
教育長	今のご質問だと、小中がダメってことはないんですけども、なんか教育委員会がそれを学校にやりなさい、というのはなんかちょっと違うかなとは思うので、やっぱり地域の方でそういう声が上がってやりましょうみたいになるのであればいいのかなと思います。
宮森委員	どこが管轄しているんでしょうね。
鈴木委員	学校なのか、もしかしたら PTA かもしれないですよ。そうですね。
教育長	生徒会とか。
鈴木委員	高校だと OB 会とか。安くはないでしょうからね。
南部委員	保護者から寄付金集めるとかね。
玉水職務代理者	もしこのアイデアを聞いての保護者たちと話して、じゃあやりたいけどお金がないみたいになったら公費で買えるのですか。

教育課長	そこは公費のイメージではないのかなと思います。
鈴木委員	ちょっともったいない気がしますよね。
教育長	そういう成果が全然伝わっていかないっていうことがもったいないっていうことですかね。
南部委員	中学校の水泳ね、すごいじゃないですか。
教育長	強制にはならずそんなご意見でましたってことを学校にお伝えすることはできるとは思います。ありがとうございます。他にございますか。
玉水職務代理者	先ほど、公民館予約入ってない時間帯に使えるようになったということで、ご報告いただいたんですけど、だいたい週何回ぐらいの頻度で、具体的にどの学生とか、誰が利用されているのかな。
教育長	中学校に関しては早く終わる時期とか、部活がない日とか、そういう時に来ているっていう感じがします。テスト期間には来ないですが、その前はほぼ毎日来ていたと思います。小学生も毎日ではないですけど、5、6年生中心に来ていて、小中学生、最初は小学生は中学生がいるから遊びづらそうでしたけど、今はいわゆる折り合いをつけてやっているっていう感じですかね。一応、使うときは名前書いてもらうようにしています。最初はいい加減な名前の聞き方だったので、全員書いてもらうっていうふうに変えようとかっていう話になっていたりとかこちらでも試行錯誤をしています。

1. 議事

○議案第34号 磐梯町認定こども園開園準備検討委員会委員の委嘱について

教育課長より説明

質疑なし

異議なく承認

1. その他

今後の日程について

教育委員関連について

主な行事について

閉会